



中央市民病院ニュース

No.84

小児科部長就任のご挨拶

小児科部長 濱畑 啓悟



このたび小児科部長を拝命いたしました濱畑啓悟と申します。私は神戸市出身で、京都大学卒業後の平成3年から5年間、中央市民病院の小児科研修医としてお世話になりました。医師として最初の歩みを始めたこの病院で、小児科および救急の現場で様々な経験をさせていただきました。さらに平成7年には阪神淡路大震災に遭遇し、通常医療が崩壊する中での医療のありかたを模索するという貴重な経験をえました。その後岸和田市民病院、京都大学大学院を経て、平成13年から22年間にわたり日本赤十字社和歌山医療センター小児科に勤務し、主に小児血液腫瘍疾患の診療に携わってまいりました。

このたび27年ぶりに神戸に戻ってくることになりました。病院は移転し、すっかり浦島太郎の気分ですが、病院一丸となって救急医療に取り組む中央市民のスピリットは30年前と変わりが無いと感じました。今後小児医療については、お隣の兵庫県立こども病院や地域医療機関とも連携しながら、しっかり役割分担していきたいと考えています。

昨今の小児医療をめぐる環境はかつてないペースで少子化が進行する中で、不登校やいじめ、児童虐待などさまざまな社会問題が深刻化しています。特に虐待については和歌山でも深刻なケースを経験し、保健所や児童相談所、警察など関係機関との緊密な連携の重要性を認識しました。我々小児科医は先端医療を市民に提供するだけでなく、子供をめぐる様々な課題に取り組んでいくことが責務だと感じています。これまでに得た経験を生かして、微力ながら故郷の小児医療に少しでもお役に立つことができれば幸いです。なにとぞよろしくお願いいたします。



INDEX

小児科部長就任のご挨拶	1	高難度・低侵襲内視鏡下経鼻手術の開始	4
心臓血管外科部長就任のご挨拶	2	CT・MRI予約の様式変更について	5
産婦人科部長就任のご挨拶	2	医師の異動のおしらせ	6
泌尿器科部長就任のご挨拶	3	患者さんをご紹介いただく際は	8

心臓血管外科部長就任のご挨拶

心臓血管外科部長 江崎 二郎



2023年4月1日付で、心臓血管外科の部長を拝命いたしました江崎二郎と申します。1997年に京都大学を卒業し、日本赤十字社和歌山医療センター、京都大学附属病院、倉敷中央病院、熊本中央病院にて研修後、大学院に進学し、学位を取得しました。その後、京都にある康生会武田病院で研修し、アメリカのジョージア州アトランタにある Emory 大学にて3年間臨床留学を行いました。臨床留学中は、アメリカの医療制度、若手医師の教育制度、日本とは異なった術後の管理方法などを学びながら、開心術の執刀を豊富に経験することができました。また、心臓外科医として成長できただけでなく、異文化の人々と働き、異文化の人々を対象に医療を行い、異文化の人々と生活をする中で、人としても幅が広がったのではないかと考えております。その後、大津赤十字病院、日本赤十字社和歌山医療センター、三菱京都病院で勤務させていただきました。

高齢化社会に伴い、心臓血管外科の手術を受ける方も高齢化しており、開心術を受けられる年齢層で最も多いのが70代後半となり、80歳代での開心術も普通となっております。高齢者に対しても、様々な臓器の保護に細心の注意を払って手術を行うことで、開心術も含めて手術の安全性を高めております。

低侵襲手術が適した症例も数多くありますが、長期的な成績を考えると、従来通りの開胸や開腹での手術が望ましい症例も多くあります。循環器内科と緊密に連携しながら、それぞれの患者さんに最適な手術や治療を提供できるように努めて参りたいと存じます。また、当院では、心臓血管外科医が24時間、365日病院で待機し、循環器領域のあらゆる疾患に対して、緊急手術を含めて迅速に対応ができる体制をとっております。

お気軽にご相談いただければ幸いです。

産婦人科部長就任のご挨拶

産婦人科部長 青木 卓哉



2023年4月1日付で産婦人科部長に就任しました青木卓哉と申します。2000年に新潟大学を卒業後、当時より「1年365日・24時間断らない救急医療」という理念をかかげていた当院で初期研修を修了しました。忙しくも充実した日々であり、多くの経験を積みさせていただきました。その後、他院での研鑽を経て、2010年に再び当院に着任し、診療に携わっています。

当科は神戸市全域にわたる基幹病院として機能し、診療内容は主に周産期部門と婦人科部門に分かれます。周産期部門においては総合周産期母子医療センターとして、母体合併症の治療・管理に重点を置き、専門各科と協力し

て妊娠・分娩中の援助と治療を行っています。婦人科部門では婦人科がん拠点病院として集学的治療を行っています。また婦人科手術では良性・悪性を問わず低侵襲な内視鏡手術を積極的に行っています。日本産科婦人科内視鏡学会が認定する腹腔鏡技術認定医が7名在籍しており、年間産婦人科腹腔鏡手術は450例以上で全国でも有数の症例を誇ります。

近年の取り組みとしては「家族性腫瘍相談外来」「周産期遺伝相談外来」など専門外来を他科と協力の上、開設し、必要に応じて遺伝カウンセラーが対応しています。また心疾患、脳血管疾患等の母体合併症を適応とした無痛分娩も行っています。

このように診療内容は多岐にわたりますが、2024年から医師にも「働き方改革」が適用され、労働時間に制限がかかります。特に当科は分娩・救急を取り扱っているため、医療の質を担保しながら改革をすすめることは容易ではありません。しかしサステイナブルな持続性のある体制を構築できるように取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科部長就任のご挨拶

泌尿器科部長 山崎 俊成



このたび4月より泌尿器科部長を拝命いたしました山崎俊成と申します。2020年より当院で勤務していますが、引き続き皆様と一緒に神戸の医療に貢献できることを光栄に思っています。

私は、兵庫県出身で平成9年に京都大学を卒業し、8年間にわたり大学、姫路医療センター等で泌尿器科医としての臨床経験を積みました。平成17年より6年間にわたる大学院ならびに米国留学を通して泌尿器癌、特に腎細胞癌の発癌・進展に関する分子遺伝学的な研究を行いました。その後、京都大学に帰学し、臨床では泌尿器癌を中心に幅広く診療を行いましたが、特に、早期より導入されたロボット手術を手掛け、経験を積んでまいりました。また、大学での9年間の教官としての勤務を通して、診療ならびに研究面での教育の重要性を認識しております。

泌尿器科では、排尿、結石、尿路感染といった良性疾患から腎尿路/男性生殖器の悪性疾患まで非常に幅広い疾患を内科的/外科的に扱っており、治療内容も多岐にわたります。当院はhigh volume centerとして、日々多くの症例の治療にあたっているだけでなく、研究教育病院としての重要な役割を担っています。現在、泌尿器科では10人のスタッフで診療にあたっていますが、引き続き安心、安全に先端の医療が提供できるようにしていきたいと思っております。

泌尿器科手術は、この10年でも大きく変遷し、これまで開腹や腹腔鏡で行われてきた手術が大部分ロボット補助下で行えるようになりました。よりよい医療を安全に患者さんに提供するためにも、常に最新の技術や知識に精通し、研鑽を続けていくことが必要だと考えております。

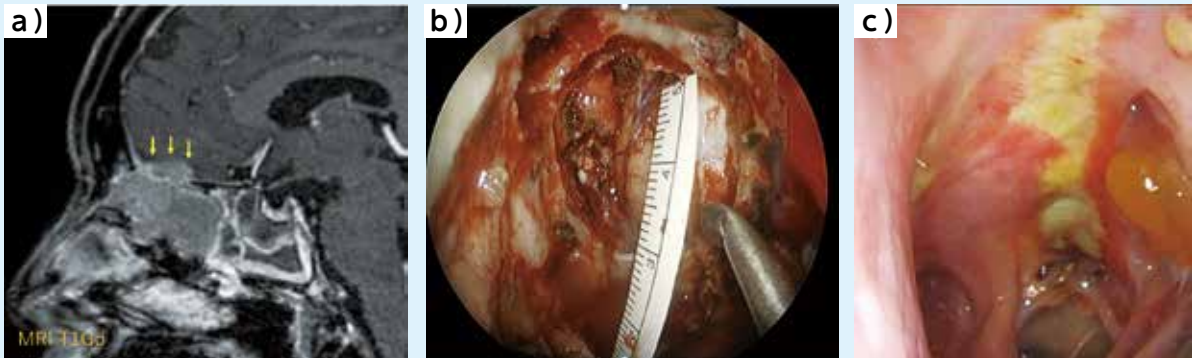
最後になりますが、今後とも皆様方のご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

高難度・低侵襲内視鏡下経鼻手術の開始

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 菊地 正弘

鼻副鼻腔・頭蓋底は、周囲に脳・眼窩・内頸動脈という重要な構造物が存在する解剖学的に複雑な領域で、同領域には良悪性含め種々の腫瘍が発生します。治療の主体は手術療法ですが、悪性腫瘍及び顔面深部に発生する良性腫瘍に対する手術は、従来開頭や顔面切開による侵襲的なアプローチ法が主流でした。しかし近年では、機器や技術の発達により悪性腫瘍に対しても低侵襲な内視鏡下経鼻アプローチが試みられるようになってきています。

当科では、早期の鼻副鼻腔がんや嗅神経芽細胞腫などの前頭蓋底悪性腫瘍に対して経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術・内視鏡下経鼻前頭蓋底手術（図）を行い、開頭や顔面切開を行わない低侵襲手術を開始しました。また、翼口蓋窩や側頭下窩などの顔面深部に発生する腫瘍に対して、内視鏡下経鼻手術単独あるいは小さな顔面切開との併用手術により、顔面や頭部の傷を作らないあるいは最小限の傷での手術を開始しました。一方で、進行鼻副鼻腔がんや進行頭蓋底悪性腫瘍に対しては、従来の外切開アプローチに内視鏡下経鼻手術を併用することで、切除断端が陽性となりやすい深部の切除マーヅンを確実につけることで手術成績の向上を図っています。



a) 頭蓋内に軽度進展（黄矢印）した嗅神経芽細胞腫の一例で、京都大学での手術症例です。このような症例に対する手術は、従来開頭手術あるいは開頭／経鼻内視鏡の併用手術が主流でしたが、内視鏡単独による摘出が可能となりました。**b)** 内視鏡下経鼻前頭蓋底手術後の内視鏡像です。硬膜が合併切除され、前頭葉が鼻腔内より確認されますが、大腿筋膜と有茎鼻中隔粘膜弁を用いた頭蓋底再建を行うことで、1ヵ月後には**c)**の様には鼻腔内と頭蓋内はきれいに遮断されます。

内視鏡下経鼻前頭蓋底手術

私は2018年3月まで当院で頭頸部腫瘍の治療にあたっておりましたが、2018年4月から約5年間、京都大学で経鼻頭蓋底手術に取り組んできました。その間に日本鼻科学会鼻科手術指導医を取得し、現在では鼻科手術指導医と頭頸部がん指導医の双方の視点を持って、経鼻アプローチで低侵襲にかつ根治性を失わない確実な切除をめざした内視鏡下経鼻手術に取り組んでいます。当科ではこれまでも、高解像度内視鏡と術中ナビゲーションシステムを用いた安全な内視鏡下経鼻手術を、慢性副鼻腔炎や乳頭腫をはじめとした良性鼻副鼻腔腫瘍に対して行ってきました。このたび、2023年2月に再度当院に赴任いたしました。今後は通常の内視鏡下副鼻腔手術（ESS）に加え、頭蓋底・側頭下窩・翼口蓋窩などアプローチが困難な部位に発生する腫瘍に対する高難度・低侵襲内視鏡下経鼻手術を提供できると考えています。その他、指定難病である好酸球性副鼻腔炎に対するESS、内視鏡下鼻副鼻腔手術V型などの拡大副鼻腔手術も行っています。対象患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。

連携登録医にご登録ください

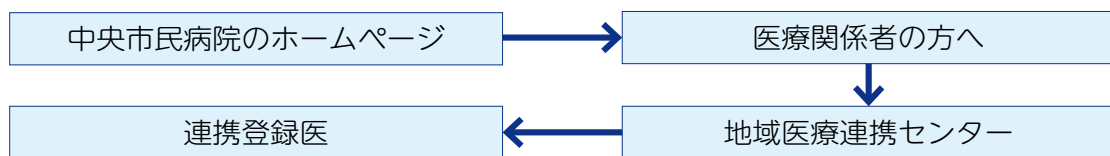
当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。

連携登録医として登録していただくと

1. 紹介患者さんに対する診療及び入院の対応を迅速に行うよう努めます
2. 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
3. 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
4. 図書室など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
5. 来院時の駐車場料金を無料にします
6. 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
7. 病院ニュースやオープンカンファレンス・講演会の開催情報などを E-mail でお送りいたします
8. 「連携登録医証」「インターネット紹介予約システムご利用ID・パスワード」を発行いたします

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

なお、連携登録医療機関一覧は、当院ホームページにも掲載しております。



新規連携登録医療機関

区別住所 50 音順で掲載しております。

区	連携登録医療機関	住所
西 区	医療法人社団 森川小児科	神戸市西区学園西町 7-2-4
西 区	のじまバスキュラーアクセスクリニック	神戸市西区学花台5-6-3
垂水区	たかやま整形外科リハビリクリニック	神戸市垂水区狩口台 1-16-2
北 区	くに歯科	神戸市北区谷上西町 27-7-101

医師の異動のお知らせ

退職・転出 12～5月

退職・転出			
診療科	役職	氏名	異動日
救急科	任期付医師	西田 晴香	3月31日
外科	任期付医師	岩城謙太郎	3月31日
呼吸器外科	任期付医師	鉄本 啓介	3月31日
呼吸器内科	任期付医師	金澤 史朗	3月31日
産婦人科	副医長	岡本葉留子	3月31日
産婦人科	部長	吉岡 信也	3月31日
循環器内科	任期付医師	石倉 正大	3月31日
消化器内科	副医長	細谷 和也	3月31日
小児科	任期付き	伊藤 環	3月31日
小児科	部長	鶴田 悟	3月31日
小児科	副医長	林 賢	3月31日
麻酔科	集中治療フェロー	宮本 将太	3月31日
麻酔科	集中治療フェロー	建部 将夫	3月31日
腎臓内科	医長	田路 佳範	3月31日
泌尿器科	副医長	阿部 陽平	3月31日
糖尿病・内分泌内科	任期付医師	大久保万理江	3月31日
放射線診断科	医長	金尾昌太郎	3月31日
精神・神経科	副医長	勝又 知子	3月31日
心臓血管外科	部長	小山 忠明	3月31日
心臓血管外科	医長	坪田 秀樹	3月31日
心臓血管外科	副医長	吉田 一史	3月31日
耳鼻咽喉科	医長	濱口 清海	3月31日
循環器内科	専攻医	滋野 稜	3月31日
循環器内科	専攻医	野口 祐	3月31日
循環器内科	専攻医	上田 晃平	3月31日

退職・転出			
診療科	役職	氏名	異動日
循環器内科	専攻医	星 祐介	3月31日
循環器内科	専攻医	島袋 誠地	3月31日
糖尿病・内分泌内科	専攻医	栗原 崇	3月31日
脳神経内科	専攻医	下山 佳織	3月31日
脳神経内科	専攻医	櫻井 靖久	3月31日
脳神経内科	専攻医	小泉 直史	3月31日
消化器内科	専攻医	竜野 稜子	3月31日
消化器内科	専攻医	南條 俊也	3月31日
消化器内科	専攻医	塚本 和之	3月31日
消化器内科	専攻医	曾根明日香	3月31日
消化器内科	専攻医	池谷 桃子	3月31日
消化器内科	専攻医	尾下 真実	3月31日
呼吸器内科	専攻医	田代 隼基	3月31日
呼吸器内科	専攻医	上田 亮太	3月31日
呼吸器内科	専攻医	高橋 祥太	3月31日
呼吸器内科	専攻医	伊藤 雅弘	3月31日
呼吸器内科	専攻医	増田 佳純	3月31日
呼吸器内科	専攻医	豊田 裕士	3月31日
呼吸器内科	専攻医	李 正道	3月31日
血液内科	専攻医	新田 彩巴	3月31日
総合内科	専攻医	並木 雅嵩	3月31日
総合内科	専攻医	坂田 尚弥	3月31日
総合内科	専攻医	藤井 真理	3月31日
総合内科	専攻医	永富 旺	3月31日
精神・神経科	専攻医	吉川 遼平	3月31日

退職・転出			
診療科	役職	氏名	異動日
小児科・新生児科	専攻医	中田 悠	3月31日
小児科・新生児科	専攻医	中尾 聡宏	3月31日
小児科・新生児科	専攻医	錦織 朱	3月31日
皮膚科	専攻医	塩入 桃子	3月31日
皮膚科	専攻医	北尾 陸将	3月31日
病理診断科	専攻医	高橋 加奈	3月31日
病理診断科	専攻医	山口 貴子	3月31日
放射線診断科	専攻医	石川 翔	3月31日
脳神経外科	専攻医	田中 優也	3月31日
脳神経外科	専攻医	岩崎 朗奈	4月30日
泌尿器科	専攻医	峯 佑太	4月30日
泌尿器科	専攻医	萩本 裕樹	3月31日
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	専攻医	安本 真美	3月31日
整形外科	専攻医	加藤 怜	3月31日
整形外科	専攻医	田中 敦	3月31日
整形外科	専攻医	枝光 優	3月31日
整形外科	専攻医	和田 晃大	3月31日
救急部	専攻医	高橋 毅史	3月31日

退職・転出			
診療科	役職	氏名	異動日
救急部	専攻医	田中 淳仁	3月31日
救急部	専攻医	西村 壮太	4月30日
救急部	専攻医	角屋 悠貴	4月30日
救急部	専攻医	能重久太郎	3月31日
救急科	専攻医	木村 圭那	3月31日
麻酔科	専攻医	馬淵 彰悟	3月31日
麻酔科	専攻医	岡口 千夏	3月31日
麻酔科	専攻医	穆 慧麗	3月31日
麻酔科	専攻医	田中 崇嗣	3月31日
麻酔科	専攻医	山田 真士	3月31日
外科	専攻医	中尾 海	3月31日
外科	専攻医	橋 奎伍	4月30日
外科	専攻医	原田嘉一郎	4月30日
外科	専攻医	佐藤 洸希	3月31日
呼吸器外科	専攻医	足立 泰志	3月31日
心臓血管外科	専攻医	堀 祥昌	3月31日
心臓血管外科	専攻医	若見 達人	3月31日
心臓血管外科	医長	松田 靖弘	3月31日

採用 4～6月

採用			
診療科	役職	氏名	異動日
救急科	任期付医師	宮下 浩平	4月1日
外科	副医長	石川 達基	4月1日
外科	任期付医師	金田 優也	4月1日
呼吸器内科	任期付医師	古田 勝之	4月1日
循環器内科	任期付医師	大岡 順一	4月1日
消化器内科	任期付医師	小林 拓哉	4月1日
小児科	副医長	高端 裕人	4月1日
小児科	部長	濱畑 啓悟	4月1日
集中治療フェロー	任期付医師	桂 欣宏	4月1日
集中治療フェロー	任期付医師	山本 亮	4月1日
腎臓内科	副医長	伊藤 誠二	4月1日
総合内科	副医長	丸山 尊	4月1日
総合内科	任期付医師	山本 大	4月1日
脳神経外科	任期付医師	中嶋 広太	4月1日
脳神経外科	副医長	寺西 邦匡	4月1日
脳神経外科	医長	武田 純一	4月1日
泌尿器科	副医長	赤木 直紀	4月1日
泌尿器科	医員	五十嵐 篤	4月1日
放射線診断科	副医長	野口峻二郎	4月1日
精神・神経科	副医長	松田 耕平	4月1日
心臓血管外科	部長	江崎 二郎	4月1日
心臓血管外科	医長	中根武一郎	4月1日
心臓血管外科	医長	石上雅之助	4月1日
心臓血管外科	副医長	川崎 有亮	4月1日
循環器内科	専攻医	大森 碧	4月1日
循環器内科	専攻医	西 宏敏	4月1日
循環器内科	専攻医	伊堂寺 諒	4月1日
循環器内科	専攻医	坂東 岳人	4月1日
循環器内科	専攻医	本吉 司	4月1日
糖尿病・内分泌内科	専攻医	稲垣雄一郎	4月1日
糖尿病・内分泌内科	専攻医	野村 拓未	4月1日
腎臓内科	専攻医	桂 健介	4月1日
腎臓内科	専攻医	林田 珠奈	4月1日
腎臓内科	専攻医	堀川聖之輔	4月1日
腎臓内科	専攻医	三島奈都美	4月1日
脳神経内科	専攻医	上村 創太	4月1日
脳神経内科	専攻医	春名孝太郎	4月1日
脳神経内科	専攻医	辻村 敦史	4月1日
消化器内科	専攻医	高折 克至	4月1日
消化器内科	専攻医	養島 貴成	4月1日
消化器内科	専攻医	山村総一郎	4月1日
消化器内科	専攻医	森 敬之	4月1日
消化器内科	専攻医	三木 秀晃	4月1日
消化器内科	専攻医	三谷 莉永	4月1日
消化器内科	専攻医	三宅 雄大	4月1日
呼吸器内科	専攻医	庵坂 学外	4月1日
呼吸器内科	専攻医	齊藤正一郎	4月1日
呼吸器内科	専攻医	笹田 剛史	4月1日
呼吸器内科	専攻医	佐藤 亮寿	4月1日
呼吸器内科	専攻医	中山真裕美	4月1日
血液内科	専攻医	岸 大智	4月1日

採用			
診療科	役職	氏名	異動日
血液内科	専攻医	馬場 晟弥	4月1日
血液内科	専攻医	山田 智彦	4月1日
血液内科	専攻医	岡田 慎理	4月1日
総合内科	専攻医	小松 加奈	4月1日
総合内科	専攻医	鳥居 融	4月1日
総合内科	専攻医	山下 新菜	4月1日
総合内科	専攻医	新宮 資央	4月1日
膠原病・リウマチ内科	専攻医	竹内 遼	4月1日
膠原病・リウマチ内科	専攻医	加地 紫苑	4月1日
精神・神経科	専攻医	盛野 弘法	4月1日
精神・神経科	専攻医	杉本 竜平	4月1日
小児科・新生児科	専攻医	木村 碧	4月1日
小児科・新生児科	専攻医	寺尾 元	4月1日
小児科・新生児科	専攻医	平井 章太	4月1日
小児科・新生児科	専攻医	松井佑一朗	4月1日
産婦人科	専攻医	金澤 怜佳	4月1日
産婦人科	専攻医	山田野々花	4月1日
産婦人科	専攻医	三木麻紗与	4月1日
皮膚科	専攻医	藤島智慧子	4月1日
皮膚科	専攻医	武田 有生	4月1日
病理診断科	専攻医	政岡 亜実	4月1日
放射線診断科	専攻医	大西龍太郎	4月1日
脳神経外科	専攻医	崎須賀 涼	4月1日
脳神経外科	専攻医	高松 昂央	4月1日
脳神経外科	専攻医	徳田 匡紀	4月1日
脳神経外科	専攻医	富田ひかり	4月1日
脳神経外科	専攻医	吉本 舞	4月1日
泌尿器科	専攻医	山本 章寛	4月1日
整形外科	専攻医	下山 真幸	4月1日
整形外科	専攻医	井尻 健太	4月1日
整形外科	専攻医	中西 優斗	4月1日
救急科	専攻医	池田 翔太	4月1日
救急科	専攻医	工藤 深奈	4月1日
救急科	専攻医	下川 岳人	4月1日
救急科	専攻医	鈴江 愛	4月1日
救急科	専攻医	梶浦 晋司	4月1日
麻酔科	専攻医	池田 真子	4月1日
麻酔科	専攻医	宇山 祐樹	4月1日
麻酔科	専攻医	飯田 櫻子	4月1日
麻酔科	専攻医	松本 あい	4月1日
麻酔科	専攻医	濱本 奈々	4月1日
外科	専攻医	谷野 敬輔	4月1日
外科	専攻医	和馬 和馬	4月1日
外科	専攻医	市川 直	4月1日
外科	専攻医	大澤 悠樹	4月1日
呼吸器外科	専攻医	宗田 桃子	4月1日
心臓血管外科	専攻医	井上 瑛介	4月1日
乳腺外科	専攻医	池田 真子	4月1日
歯科・歯科口腔外科	専攻医	河村 隆昇	4月1日
呼吸器内科		横田 真	4月1日

患者さんをご紹介いただく際は・・・

● FAX・インターネットでご予約ください！ ●

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の紹介予約を受付しています。紹介予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、是非ご利用ください。

FAX予約

- FAX 予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくても FAX 予約は可能です。診療情報はその日のうちに記入し、再送信して下さい。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。地域医療連携センターへ電話で連絡をして頂くようお願いください。

【手順】

1. 「FAX 予約申込書」を当院地域医療連携センターへ送信して下さい。【簡易手続記載例を参照ください。】
 - 1) 「FAX 予約申込書」様式の上段赤枠のみ記載ください。(検査依頼については専用の検査様式をご使用ください)
 - 2) 後ほど予約申込日中に下段青枠に追記してから再送ください。
2. 「予約報告書(上段)兼初診予約券(下段)」を返信します。
3. 「予約報告書(上段)」は貴院で保管し、「初診予約券(下段)」及び「診療情報提供書(紹介状)」を患者さんに手渡してください。

※予約の必要と思われる診療情報も併せて記載してください。
 ※本人に代る者(親)で診療情報がない場合、「紹介センター」での紹介が必要です。
 紹介先医療機関の FAX 番号 _____

氏名欄: 氏名、性別、年齢、生年月日、住所、電話番号、FAX 番号

診療情報欄: 診療科目、初診/再診、既往歴、アレルギー、検査依頼内容

備考欄: 予約済み/未予約済み、検査依頼内容

神戸市立医療センター中央市民病院 地域医療連携センター FAX078-302-2251 TEL078-302-6031

1 **まず赤枠のみ記入して送信してください。**

2 **お手すきの際に青枠に追記して再送してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。**

インターネット紹介予約

インターネットで診察予約申込と予約券出力が可能です。

当院ホームページ > 医療関係者の方へ > 一般外来紹介予約 > インターネット紹介予約はこちら

PET/CT 検査依頼のご案内とお願い

放射線技術部

● 当院の PET/CT 検査について

2017年11月より、地域医療機関の先生方からの PET/CT 検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET 薬剤 (FDG) は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適量の PET 薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。



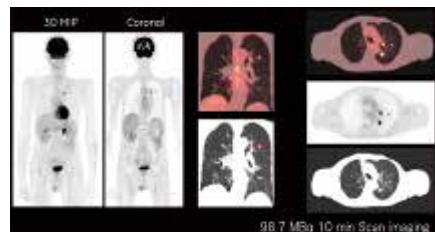
2018年3月に「5リング搭載高感度型 PET/CT 装置 (GE Healthcare 社製 Discovery IQ)」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

また現在、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。

● 地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT 検査は、悪性腫瘍 (早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む) において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定 (悪性リンパ腫を除く) は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT 検査を受けられる前に、必ず CT・MRI の画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願い致します。



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
 Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代表 Tel: 078-302-4321 Fax: 078-302-7537

FAX予約 Tel: 078-302-6031 Fax: 078-302-2251

地域医療連携センター

Tel: 078-302-4321(代) Fax: 078-302-4424

★緊急受診・転院のお問い合わせは★

専用ダイヤル: 078-302-5172

平日 9:00 ~ 17:00 地域医療連携センター
 上記以外の時間帯 救急外来受付

脳卒中ホットライン
 078-302-8030

産科ホットライン
 078-302-5104

胸痛ホットライン
 078-302-6162

小児科ホットライン
 078-302-5343